

平成 29 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2017

| | |
|----------------------------------|------------------|
| 講座名・職名 Course Title・Job Title | ヨーロッパ I 講座 教授 |
| 氏名 Name | 藤原 克美 |
| 専門分野 Academic Field | ロシア・ソビエト経済論 |

| | |
|---|---------------|
| 主たる研究テーマ Principal Research Subject | ソビエト「消費社会」の研究 |
| <p>科研費 (C)「不足のなかの「消費社会」の研究として、6 月 15 日に“The Second World Congress of Comparative Economics” (HSE in St. Petersburg) において“The Birth of Soviet Jeans”というタイトルで報告を行った。また京都大学経済研究所プロジェクト研究「階層分化と経済格差に関する実証的・歴史的研究——ソ連・ロシアの経験をもとに——」と合同で7 月 23 日に研究会を開催し、「消費から見るソビエト市民の格差」を報告した。また、これをもとに、12 月 8～10 日に“The Future of Transition Economics: Emerging Multinationals and Historical Perspective”という国際シンポジウムを主催者の一人として組織し、個人としては“Differentials and Egalitarianism: From the Case Study of Daily Life in the 1960-70s”というタイトルで報告を行った。このシンポジウムに関連しては、12 月 12 日にセルゲイ・ジュラヴリョフ氏の講演会「1920～1930 年代のソビエト・ファッション」を大阪大学箕面キャンパスにおいて実施した。</p> <p>科研費 (C)「不足のなかの「消費社会」」において予定していたインタビューを、世論調査機関の「レバダ・センター」を通じて 10 月と 11 月に実施した。インタビューの結果は、“The Journal of Comparative Economic Studies” (JSCES) の No.12 に投稿予定である。</p> <p>科研費 (B)「東北アジア辺境地域多民族共生コミュニティ形成の論理：中露・蒙中辺境に着目して」(代表：岡洋樹東北大学教授) では、9 月 6～7 日に開催された“Migration Bridges in Eurasia: Political, Socio-economic, Demographic and Historical Perspectives For NorthEast Asia”において“Shrinks of the Russian Colonial Space in Harbin under 1930s: from the Minutes of Churin Company”というタイトルで報告を行った。また、「1930 年代ハルビンにおけるロシア人の縮小と適応戦略—チューリン百貨店の資料から—」という論文を『セーヴェル』34 号に執筆予定である。</p> | |